

安曇野市コミュニティスクール事業

(Azumino-city Community School)

“地域とともにつくる学校、

地域に根差した魅力ある学校”をめざして



平成 29 年 4 月 安曇野市教育委員会

安曇野市コミュニティスクール（Azumino-city Community School）事業  
～“地域とともにつくる学校、地域に根差した魅力ある学校”をめざして～  
～～～はじめに～～～

今日の人口減少、少子化に伴う児童生徒数の減少や社会状況が多様化・複雑化する背景に、学校現場を取り巻く教育環境は複雑化し困難を極めており、学校の対応が質的な面でも量的な面でも難しくなっています。

そのような状況において安曇野市では、学校と地域や保護者が力を合わせて、子どもたちの学びや健全な成長を支援する取り組みとして、平成 21 年度から国の委託を受けて学校支援地域本部事業を取り入れ、平成 23 年からは市の独自事業として継続実施してきました。さらに、平成 26 年度からは安曇野市スクールサポート事業として名称を変更し、内容を充実させてきました。

この取り組みにより、地域に信頼される学校づくり・地域に開かれた学校づくりが前進し、地域の方々が学校運営へ参画、学校支援に積極的に関わり、学校評価を一体的・持続的に実施していく仕組みが整ってきました。

一方、長野県教育委員会では、平成 29 年度に県内全ての公立小中学校に「信州型コミュニティスクール」の設置を目指して推進してきましたが、安曇野市のスクールサポート事業は既に県の要件を満たす先進的な取り組みとして高い評価を受けています。

そこで、安曇野市では、平成 29 年度よりスクールサポート事業から「安曇野市コミュニティスクール（Azumino-city Community School）事業」と名称を変更し新たにスタートをします。

今後は、これまでの取り組みを継承しながら、安曇野市教育大綱に定めた「たくましい安曇野の子ども」を育成するため、「開かれた学校づくり」から一步踏み出し、どのような子どもたちを育てていくのか、何を実現していくのかという学校運営の目標や願い、課題を地域の方々に理解していただき共有し、地域と一体となって地域の子どもたちを育む「地域とともにつくる学校」を目指していきます。

新たなこの取り組みでは、学校や子どもたちに対して地域が一方向的に支援するという関係ではなく、学校や子どもとの協働の活動を通して、子どもにとっては一番身近な地域をより詳しく知ることになり、一人ひとりに寄り添っていただくことで、自己肯定感が育まれ地域への愛着や誇りを高めることが期待できます。

また、教職員にとっても地域のことがよく理解でき、地域の人材を活用させていただくことにより充実した学習活動が実施できます。更に、地域の方々にとっては一人ひとりが学校とつながること、自身の経験・技術を役立てることの喜びや、地域の宝である子どもの育成に携わることがやりがいや生きがいを感じる生涯学習の機会にもなります。

これらの内容を踏まえ、学校が地域の拠り所（コミュニティ）となるように「地域に根差した魅力ある学校」をともに目指します。

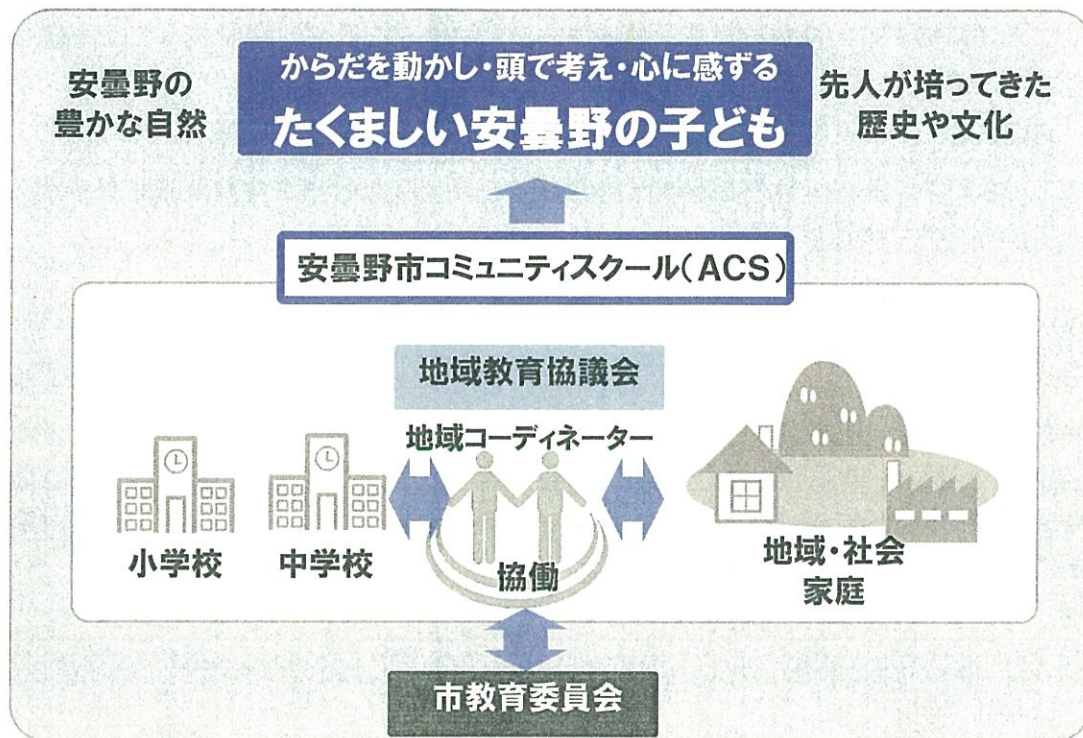
平成 29 年 4 月

安曇野市教育委員会教育長

橋 渡 勝 也



## 【安曇野市コミュニティスクール（ACS）】



### 【安曇野市コミュニティスクール（ACS）の特徴】

#### （1）会議

まず、地域の代表の方に本年度の学校運営の目標や願いを理解していただき、学校と共有する場として中学校区単位で「地域教育協議会」を発足します。地域教育協議会は学校関係者、地域住民、地域コーディネーター、公民館関係者等で構成され年間複数回開催します。

また、全市にまたがる事項を協議する「実行委員会」、地域コーディネーターへの情報提供・情報交換を目的とする「地域コーディネーター連絡会」を開催します。

#### ＜地域教育協議会の機能＞

##### ①学校運営の理解・参画

学校長が示しためざす子どもの姿や学校の重点目標、課題への取組みについて地域の方々と意見交換・共有をします。

##### ②学校支援についての意見交換

学校からの要望に基づいた、地域の方々による学校応援活動や住民一人ひとりの活躍の場の創出について協議します。

##### ③学校関係者評価

学校が実施する自己評価に基づいて、地域との連携に関わることなどについて、説明を受け意見交換を行い学校運営に反映します。

##### ④小中連携

安曇野市では中学校区単位で協議会を設置し、小中9年間の学びを通してどのような子どもたちを育てていくか一体的に協議します。

## (2) 地域コーディネーター

学校の実情に応じた様々な学校づくりや地域活動等の企画調整を行い、学校と地域の方々をつなぐ（調整する）役割を担う「地域コーディネーター」を小中学校全てに配置します。

地域コーディネーターは、幅広い地域の方々为学校に足を運んで、学校と連携して教育活動を充実させていくための窓口となる役割を担い、地域に根差した魅力的な学校づくりを支援していきます。また、学校と地域が協働してこのような体制を持続可能になるように地域コーディネーターが推進します。

## (3) 学校応援隊の組織化

学校応援隊の方々には、市教育委員会への人材バンク登録をお願いし、学校の要請によって、学校・地域コーディネーターへ情報を提供することができます。

ただし、人材バンク登録しなくても、地域の方々子どもたちとの教育活動をとおして自分たちもやりがいや生きがいを感じられる「ともに学ぶ学習者」として、気軽に学校に足を運ぶことができる仕組みになっています。

## 【「スクールサポート事業」から「コミュニティスクール（ACS）事業」への変更点】

### (1) 名称の変更について

「たくましい安曇野の子ども」を育むために「地域とともにつくる学校、地域に根差した魅力ある学校」を目指して、「安曇野市スクールサポート事業」の名称を「安曇野市コミュニティスクール（ACS）事業」に変更します。

また、「地域が一方向的に学校や子どもたちを支援するという関係ではなく、子どもの育ちを共有しながら地域の方々もやりがいや生きがいを感じる」ことができるという意味合いから「学校支援ボランティア」の名称を「学校応援隊」に変更します。

### (2) 組織等について

各学校の実情に応じて、地域と学校がより親密な関係性を築きあげるため学校毎に「連絡会」を設けることができます。学校応援隊の内容や反省、学校、地域コーディネーター、学校応援隊の方々同士が情報交換できる機会とします。

また、応援内容の枠組みを超えた学校を核とした「地域の方々の交流の場」となることも期待できます。

### (3) 情報発信について

学校毎の情報発信を推進するため、各地区、地域公民館等へも学校便りの配布（回覧）を行います。また、「学校応援隊」の募集等も学校便りや学校HPを活用して行います。

### (4) 事業主体について

子どもも大人もともに学び合う場所として学校が位置づけられることから、生涯学習の推進が図られます。担当課は学校教育課に置きますが、生涯学習課はもとより他課とも連携して取り組みを進めます。



【安曇野市コミュニティスクール（ACS）の体系図】

平成29年4月スタート

安曇野市コミュニティスクール

～ “地域とともにつくる学校、地域に根差した魅力ある学校” をめざして～

安曇野市教育委員会

